

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】令和2年4月30日(2020.4.30)

【公表番号】特表2019-519201(P2019-519201A)
【公表日】令和1年7月11日(2019.7.11)
【年通号数】公開・登録公報2019-027
【出願番号】特願2018-554564(P2018-554564)
【国際特許分類】
 A 2 4 F 47/00 (2020.01)
【F I】
 A 2 4 F 47/00

【手続補正書】
【提出日】令和2年3月23日(2020.3.23)
【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

エアロゾル発生装置であって、

エアロゾル発生物品を受けるためのくぼみを画定するハウジングであって、前記くぼみが開放端を有し、その開放端を通して前記物品を前記くぼみに受け取ることができるものと、

前記ハウジングに接続された締付部材とを備え、前記締付部材が、前記くぼみの少なくとも一部分を選択的に締め付けるために開位置と締付位置の間を移動可能である、エアロゾル発生装置。

【請求項2】

前記締付部材が、前記くぼみの少なくとも一部分を選択的に締め付けるために、エアロゾル発生物品が前記くぼみ内に受け取られた時に、前記開位置と前記締付位置の間で選択的に移動可能である、請求項1に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項3】

前記締付部材が、前記くぼみの前記開放端を選択的に締め付けるために移動可能である、請求項1～2のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項4】

前記締付部材が前記締付位置に向けて付勢されている、請求項1に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項5】

前記ハウジングと前記締付部材の間にばねをさらに備え、前記ばねが前記締付位置に向けて前記締付部材を付勢するように配置されている、請求項1～4のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項6】

前記締付部材が、前記ハウジングの前記くぼみの外側の周りに延びるカラーを備える、請求項1～5のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項7】

前記締付部材が、前記ハウジングの前記長さの領域に沿って移動可能であるように、前記ハウジングに摺動可能に接続されている、請求項1～6のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 8】

前記ハウジングが、前記締付部材が前記開位置にある時に前記締付部材の少なくとも一部を受け取るための凹部をさらに備える、請求項 7 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 9】

前記ハウジングが本体および前記本体に接続された移動可能な壁を備え、前記移動可能な壁が前記くぼみの前記開放端の少なくとも一部を画定し、また前記開放端が第一の最小直径を有する第一の位置と、前記開放端が第二の、より小さい最小直径を有する第二の位置との間で前記移動可能な壁が移動可能であり、また前記締付部材が、前記移動可能な壁を前記第二の位置にそらせることによって、前記くぼみの前記開放端を選択的に締め付けるように配置されている、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 10】

前記移動可能な壁が、前記締付部材が前記開位置にある時に、前記第一の位置に向けて付勢されている、請求項 9 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 11】

前記移動可能な壁が弾力性であり、前記締付部材が前記締付位置に移動した時に弾性変形によって、前記ハウジングの前記本体に対して撓ませて、前記第二の位置に移動するように、および前記締付部材が前記開位置に移動した時に自動的に前記第一の位置に戻るよう配置されている、請求項 9 または請求項 10 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 12】

前記移動可能な壁がヒンジによって前記ハウジングの前記本体に接続され、その周りを前記移動可能な壁が前記第一の位置と第二の位置と間を移動可能である、請求項 9 または請求項 10 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 13】

前記エアロゾル発生装置が電気加熱式のエアロゾル発生装置であり、前記くぼみ内に受けられた時にエアロゾル形成基体を加熱するために前記くぼみ内に位置付けられた電気ヒーターをさらに備える、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 14】

前記電気ヒーターが、一つ以上の外部発熱体、一つ以上の内部発熱体、または一つ以上の外部発熱体および一つ以上の内部発熱体を備える、請求項 13 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 15】

前記電気ヒーターが、前記くぼみの周囲の周りに、複数の外部発熱体を備える、請求項 14 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 16】

前記外部発熱体が、前記くぼみの長軸方向に沿って延びている、請求項 15 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 17】

前記複数の外部発熱体が、前記移動可能な壁の内表面に配置されている、請求項 9 ~ 12 のいずれか一項に従属する請求項 15 又は 16 に記載のエアロゾル発生装置。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 17 のいずれか一項に記載のエアロゾル発生装置と、前記エアロゾル発生装置で使用するエアロゾル発生物品とを備え、前記エアロゾル発生物品がエアロゾル形成基体を備える、エアロゾル発生システム。

【請求項 19】

前記エアロゾル形成基体が、加熱に伴い前記基体から放出される揮発性たばこ風味化合物を含むたばこ含有材料を備える、請求項 18 に記載のエアロゾル発生システム。

【請求項 20】

前記エアロゾル発生システムを起動するためのユーザーインターフェースをさらに備える、請求項 18 又は 19 に記載のエアロゾル発生システム。